

2025 年度 T-1 実技報告書②-2

山行目的	日帰り登山（山スクール トレッキング 1 実技②-2）
山域・山名	金剛山（文殊尾）
日 程	2025 年 5 月 17 日
メンバー	スタッフ 2 名、生徒 4 名
日程・天候	雨 気温（登山口スタート時 19 度）
行 程	雨の中の初めての記録係で時間や写真での記録がきちんとできておらず、あいまいな報告となります。申し訳ございません。 次第に雨が弱くなるとの天気予報のため空の様子を見ながら、屋根のある東屋にて雨具、スパッツ、手袋、ザックカバー、靴の使い方や手入れ方法、足の運び方の講習を受けた。 10 時過ぎても雨は変わらず、夕方まで降る天気予報となったため、百ヶ辻から出発した。 予定していた寺谷ルートは谷筋で水が多いため、文殊尾ルートから登ることになった。 念仏坂～文殊中尾根～文殊尾と進んだ。 雨のため様々な生き物が出てきたようで、カエル、カニ、ミミズなどをよく見かけた。 文殊尾の途中で山頂が風速 24m の強風との天気予報があり、雷鳴が聞こえ、風向きから積乱雲ができる可能性も高く、雨に不慣れなメンバーもあり、下山することになった。 文殊尾～文殊中尾根～念仏坂で下山した。 12 時すぎに下山。屋根のある東屋にて休憩し行動食を摂った。 最後にストレッチをして 12 時 50 分ごろ解散となった。
学び・感想	・ 山頂の雨や風の情報は下山してくる人に聞く。主観が違うので 2～3 人に聞くとよい。 ・ 体が暑さにまだ慣れない時期に、高めの気温でレインウェアを着て行動することは熱中症になりやすい。レインウェアのなかで汗で蒸れて非常に暑かったです。 ・ 濡れた地面や丸太が滑りやすいため、上から足を下ろして足裏をベタっとつけて歩く。下りの坂道では足指を丸くして滑らないようにする。ぬかるんで滑りそうで怖くて腰が引けてしまい危険な歩き方をしていました。 ・ 事前の天気予報は「昼頃まで小雨、午後は曇り、風速 5m」でしたが、当日は「夕方まで本降り、風速 24m」でした。刻々と変わる天気予報の情報をしっかり取り、そのうえで現地での雨や風の状態を自分で見極めて正しい判断できるようになりたいと思いました。 ・ 個人的に初めての雨のトレッキングで余裕がなかったため、時間の記録ができず記録係の仕事をきちんと遂行できなかったことをお詫び申し上げます。

